

環境

問 長谷浜の再生砂による
大規模な盛り土問題等から
条例改正が必要ではないか
と12月議会で提案した。
市残土条例改正を検討して
いるとのことだが、どうい
つた改正を目指すのか。
答 本市では、土砂等の埋
立て面積500平方メートル

ル以上3,000平方メートル未満のものを市残土条例の対象としていますが、その下限値を300平方メートルに引き下げたいと考えています。

また、再生砂についてもこれまで県条例に準拠し適用除外としていましたが新たな市残土条例では一定の基準を満たさない再生砂については規制できるよう改正したいと考えています。

問 広域ごみ処理施設ではシャフト式溶融炉を採用する予定とのことだが、成田市のガス化溶融炉の稼働停止ごみ処理の民間委託などを見ると、溶融炉の導入には本当に厳しい検証が必要と考えるがどうか。

問 圏央道が開通し、多古の先にインター・エンジができるが、これに伴う高速バス運行経路を効率良いものにして欲しい。

ぐ計画となつています。匝瑳市区間では時曾根地区と
筈曾根地区の南側を通り、八日市場赤地区と横須賀地
区の間で、主要地方道八日市場野菜線バイパスへ接続
する計画となつています。

問 市内循環バスは朝夕は
利用者もいるが乗客のいな
い時間帯もあり、一部のテ
マンド化を検討してはどうか

おり循環バスは運行して
きたいと考えています。
環バスを補完する制度と
て平成27年度から市内
クシー事業者を活用した
域交通利用助成事業を行
します。この制度はデ
ンド交通とは異なり、初
費用が不要、実際に利用
た回数分の負担となるた
事業の口数がないなどの
点があります。

短所については、システムやオペレーター等の費用がかかること、運行がなくとも費用がかかること、乗客一人あたりのコストが高くなる傾向にあること、一度に多人数の輸送に対応できないこと、知らない人の相乗りになること、事前登録の必要があること、予約なしでは乗れないこと、などが挙げられます。

介
護

問 介護予防給付の地域支援事業への移行について本市における取り組み状況と計画について伺う

答 現在、要支援認定者が利用している訪問介護及び通所介護サービスについては、市が地域の実情に応じて取り組む地域支援事業へ移行した後もこれまでの予防給付によるサービスと変わりない専門的なサービスが提供できるような体制を整備したいと考えています。

問 4月から施行される医療介護総合確保推進法によつて介護保険制度がどのように変わるのか。
答 昨年6月に成立した医療介護総合確保推進法に基づき、平成27年4月から特別養護老人ホームへの入所は、居宅での生活が困難な中重度の要介護高齢者（原則要介護3以上）の方に限定されるようになります。介護給付及び予防給付について平成27年8月から一定額以上の所得のある第1号被保険者に係る利用者負

担の割合が1割から2割に引き上げられます。また、低所得施設利用者の食費及び居住費に対する補足給付について、平成27年8月から預貯金等の資産要件が追加され、一定額以上の資産のある方は対象外となります。また、介護予防サービスのうち、訪問介護と通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業に移行され、平成29年度まではすべての市町村での実施が義務付けられました。

います。国土交通省の工事計画によれば、圏央道の神崎・大栄間が平成27年5月までに開通予定であり、それに続く大栄・横芝間の早期完成に期待が高まることです。圏央道の開通を見越した新たな高速バス路線については、現行ルートとの比較検討を行い、運行時間や経由地等を含めた総合的な観点から優位性を確認し、運行会社と協議していきたいと考えています。

A photograph showing a row of six school buses parked in a parking lot. The buses are painted in vibrant colors: blue, green, yellow, orange, pink, and purple. Each bus has a unique, colorful pattern on its side, possibly representing different themes or schools. They are parked in front of a light-colored, multi-story building under an overcast sky.

情報発信

問 市ツイッターの情報発信頻度とルールについて伺つまた、利用者数と啓蒙活動について伺う。

市が情報提供を行ふ時間帯は原則として平日の午前8時30分から午後5時までですが、必要に応じて隨時行うこともあります。特に災害情報等、緊急時に瞬時に伝達する上では有効な手段と考えています。情報発信でのルールと頻度については、市で運用管理や利用方法、禁止行為等を定めた匝瑳市公

式ツイッター運用ガイドラインに基づき、適切な運用管理のもとに行っています。また、本年2月末現在の情報発信件数は189件で、フォロワーとしての利用者数は本年2月末現在で330人となっています。

市では利用拡大に向け、市ホームページや広報等を通じて、周知・PRに努めています。

されていいます。現在、横芝
光インター、エンジから匝
瑳市の主要地方道八日市場
野榮線バイパスまでの5km
について国土交通省から整
備区間として指定され、千
葉県により事業が進められ
ています。横芝光インター
エンジから東へ約1・6
kmが横芝光町の区間となり
ますが、この区間で国道1
26号とJR総武本線を跨

答 市内循環バス6路線について、現在1日6便から8便の運行を行っています。デマンド交通システムの導入にあたっては、たとえ短時間の運行でも、システム構築等の初期投資が相当額必要になります。一方、循環バスの減便による費用の削減は、燃料費程度しか見込めないことから、両者の併用は予算的に困難です。

また、それぞれの便で利用者はいますので、従前ど

答 が、今までの検討結果
おいてこの長所・短所を
のように理解しているか
デマンド交通システム
の長所ですが、利用者の
要に応じて運行するため
客のいないバス停などを
由せず乗車時間が短縮で
ること、せまい道路でも
行でき、バス停までの移
動を必要としないことなど
ら、事前登録した特定の
用者に対し、身体面でや
しいサービスであると言

この利用者すべてをデマンド交通でカバーしようとする
と、仮に市内全地区を
12台のセダンで補うもの
として、初年度で約1億円
程度かかると試算していま
す。

また、ピーク時の人数に
対処するには、さらに2台
程度の増員補完用の車両が
必要となり、単純に現在の
利用者をカバーするという
意味では循環バスの方が費
用は少ないと考えられます。

交
通

答 匝瑳市役所から東京駅までの間を1日8往復運行しています。国土交通省の工事計画によれば、圏央道の神崎・大栄間が平成27年5月までに開通予定であり、それに続く大栄・横芝間の早期完成に期待が高まることです。圏央道の開通を見越した新たな高速バス路線については、現行ルートとの比較検討を行い、運行時間や経由地等を含めた総合的な観点から優位性を確認し、運行会社と協議していることをお伝えしています。

A photograph showing a row of six small, colorful buses parked in a parking lot. The buses are painted in various vibrant colors including blue, green, yellow, orange, pink, and purple. Each bus has a unique, artistic design on its side. They are parked in front of a light-colored, multi-story building under an overcast sky.

▲ 市民の足となっている市内循環バス

タクシー事業者にとっても、事業許可申請や修業などが必要な利用者の流出を委託料と運行コストのバランスを心配することもなく、利用者が増えるだけ営業利益につながります。

などが挙げられます。

これらのことから、不特定多数の方の輸送に不向きであり、通勤・通学等の用途には適きないと言えます。市内循環バスは高齢者ははじめ一般市民や市外からの来訪者にも平等に利用する機会を与え、市中心部と地域を結ぶ公共交通機関であると考えています。

問 デマンド交通は初期費用が多額になるということだが、どのくらいの金額を想定しているのか。

答 平成26年度の循環バスの運行経費の見込み額は7、634万1千円で、利用者数の見込みは5万7、300人を見込んでいます。

7、634万1千円で、利用者数の見込みは5万7、300人を見込んでいます。この利用者すべてをデマンド交通でカバーしようすると、仮に市内全地区を12台のセダンで補うものとして、初年度で約1億円程度かかると試算しています。

また、ピーク時の人数に對処するには、さらに2台程度の増員補完用の車両が必要となり、単純に現在の利用者をカバーするという意味では循環バスの方が費用は少ないと考えられます。